令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
A01	R7.6.28	環境問題について、サスティナブルな社会の実現には、３Ｒ（Reduce、Reuse、Recycle）が重要である。大和市に限ったことではないが、プラスチックの消費が多い。 プラスチックごみも資源として回収しているが、焼却処分している自治体が多いと聞いている。「官民連携」で取組を強化できないか。 大和市はプラスチック資源について、どのように対応しているのか。	(1)既に対応済みのもの	「資源として回収しているが焼却処分」「プラスチックの消費が多い」という意見内容から、プラスチック資源とは「容器包装プラ」を指していると類推されます。本市では令和元年７月より容器包装プラに関しては排出量の全てを資源化しています。なお、現在、多くの自治体で焼却処分を行っておりません。	環境共生部	資源循環推進課
C01	R7.6.28	つきみ野周辺の境川沿いの道は、町田市側はところどころ灯りがあるが、大和市側は真っ暗で怖くて歩けない。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	当該箇所は、河川管理用地で防犯灯への電力供給が困難であることや設置箇所数も多いため、現時点では対応は難しい状況です。今後も市内全体の防犯灯の新設要望件数を考慮し継続して新設の検討をしてまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	要望箇所は神奈川県の河川管理用通路です。通行は可能ですが、一般的な道路と比較して、照明設置の優先順位が低く設置にかかる費用も高額となるため、設置は難しい状況です。	まちづくり部	道路整備課
C02	R7.6.28	せっかく横浜Ｆ・マリノスのホームタウンになっているが、検索してもすぐ出てこないので、情報が少ないと感じる。	(3)実現を目指し検討しているもの	現在サッカーイベントの開催、ホームゲーム市民招待、ホームゲームの日等に市役所本庁舎でマリノスのユニフォームを着用して業務を行う等、認知度向上に努めています。引き続き横浜F・マリノスと協力し、認知度向上に向けて情報発信をしていきます。	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課
D01	R7.6.28	新総合計画は“健幸”や“つながり”が強調されている。現状“つながり”に関しては、希薄だと感じており、私自身も近所に住むかたの顔も名前も分からない状況で、自治会やＰＴＡ活動も行っているが、必要性は感じていない。“つながり”は重要であるが、ビジョンだけでは実現が難しいと考える。ごみのない街を例にすると、「ごみを１日に１個拾う」といった具体的な行動目標を掲げると実現に向けて１歩近づく。“つながり”が重要であることは分かっているが、実現できていない状況において、市はどういった具体的な目標を考えているのか。	(1)既に対応済みのもの	第１０次大和市総合計画において、「地域の中で共に助け合って生活できている」、「地域活動に関わる人が増えている」、「公共を担う市民や事業者が増えている」等の「めざす姿」を設定した上で、つながりに関する取組を進めています。	未来政策部	総合政策課
E01	R7.6.28	大和市障がい者福祉計画審議会における意見により、大和市障がい者福祉計画（施策３－６経済的自立への支援）に「心身障害者医療費助成制度について、引き続き国による全国一律の制度の創設や県の補助対象拡大を要望していくとともに、市の助成制度の見直しを検討します」という方向性が示された。心身障害者医療費助成制度の改善（精神障がい者に対する助成対象について、１級の通院費のみを２級までかつ入通院までを助成対象範囲にする）については、陳情や請願も続けてきており、約８００名の署名も集まっている。１０年前からこのことを訴えてきたがなかなか進展せず、古谷田市長になってようやく計画に方向性が示されたことに当事者や家族は安堵している。本計画は５年計画なので、すぐに達成されるものではないことは承知しているが、隣接する、相模原市、海老名市、藤沢市は既に対応されており、大和市も同等となるようあらためてお願いする。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	本市の心身障害者医療費助成制度は、県の重度障害者医療費助成制度に準じて、重度に相当するかたを対象としており、対象範囲の拡充は、市の財政状況を考えると大変困難な状況です。本来、全ての国民が公平に医療を受けられるべきものと考えており、引き続き、国による全国一律の医療費助成制度の創設や県の補助対象拡大を要望していくとともに、市の助成制度の見直しを検討していきます。	あんしん福祉部	障がい福祉課
F01	R7.6.28	“幸せ”や“つながり”というキーワードが出ていたが、今回の提案は障がいのある子どもや若者の生きがいにつながるものと考えている。大和シルフィード、横浜Ｆ・マリノスのホームタウンである大和市はスポーツによる市の活性化を推進していると認識している。シルフィードによるインクルーシブのイベント（大和シルフィードインクルーシブスタジアムDAY～Football For ALL～）を通して、パラスポーツにも力を入れていることも承知している。パラスポーツのメニューに電動車椅子サッカーを加えていただきたい。電動車椅子サッカーは、マリノスも力を入れており、横浜Ｆ・マリノスカップ電動車椅子サッカー大会も開催されている。パラスポーツに理解のあるシルフィードの協力も得られると思うので、ぜひ大和市でも電動車椅子サッカーの大会を開催してほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	電動車椅子サッカーの大会につきましては、競技中のタイヤ痕や、横転による床のへこみ、ささくれ等が発生する懸念があり、他団体の活動に影響を及ぼす可能性があります。そのため、現時点においては実施が難しいと考えておりますが、頂いたご意見は、障がいの有無に関わらず、すべての人がスポーツに親しむための貴重なご意見として捉え、今後の参考とさせていただきます。	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課
G01	R7.6.28	電力の浪費について憂慮しており、特に商業施設の照明は明るくし過ぎているのではないかと思う。民間企業のことなので、市長がなんとかできるものではないのは理解しているが、電力消費量を抑えて二酸化炭素の排出を減らしていく脱炭素社会を目指すことは必要と考えている。郵便局の配達バイクのヘッドライトは車両を認識させる意味もあるとは思うがあまりにも眩しすぎる。	(1)既に対応済みのもの	大和市では、住宅用太陽光の設置やごみ分別など、市民の多大なご協力をいただきながら、電力消費量や二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。国と市では二酸化炭素排出量を、2013年度から2030年度までに46%削減することを目指していますが、最新の2023年度では32.8%減となっており、2030年目標を達成できるペースとなっています。今後、事業者の皆さんへの周知啓発や意見交換などをさらに深めながら、脱炭素社会の形成に向けた取組をより一層進めてまいります。	環境共生部	環境総務課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
H01	R7.6.28	まちづくりに関連して、現在、マンションの老朽化が問題になっている。新総合計画の中では、まちづくりの方向性として「商業・ 業務機能や良質な中高層住宅など様々な都市機能が集まり、活力やにぎわいを生み出す「やまと軸」では、さらに便利で暮らしやすく、都市の魅力を備えた環境を整えていきます」とされており、一方で、公共施設の老朽化についても課題として提示されている。私が住んでいるマンションも老朽化が進んでおり、長寿命化するか、建替えるか、検討を進めている段階である。昨年度、神奈川県住宅整備課の事業（優良建築物等整備事業：マンション建替タイプ）を活用し、アドバイザーを派遣いただいて検討している。県の事業は実績が少なく、大和市内は０件である。大和市初の県事業を活用した建替えに向けて検討している。マンションの建替えは、幼稚園、薬局、クリニック、避難所、ヘリポートなどの併設により都市機能を向上させる力もあり、福岡市は都心部機能更新型容積率特例制度を設けて容積率を緩和して、都市機能を強化している。公共施設の老朽化対策と合わせて、福岡市のように都心部における民間建築物の更新期等を捉え、運用基準を定め、税制・融資・助成等の既存制度を効果的に活用することにより、民間の力を引き出しながら、機能更新を促進し、都市機能強化と魅力づくりを推進することを提案する。	(3)実現を目指し検討しているもの	【公共施設に関する行政と民間の連携について】令和７年度末に公共施設等総合管理計画を改定する予定であり、この計画の中で、老朽化対策を含む公共施設の今後のあり方についての方向性などを示すとともに、民間事業者の活用についても検討を行っていくことを記載していきたいと考えております。	未来政策部	総合政策課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	【容積率の緩和について】大和市では総合設計制度（建築基準法第59条の2）に係る許可について「大和市総合設計許可基準」を定めており、基準を満たした計画に対し許可を行うことで規制容積率への割増しが可能となります。今後についても当該制度により、容積率緩和に関して支援を行う方針です。 【マンション長寿命化について】適切な管理が行われているマンションの管理計画を市が認定する「マンション管理計画認定制度」があり、対象は大和市内の分譲マンション、有効期間は5年間となっています。管理組合の運営・管理規約・長期修繕計画の内容等に関わる認定基準を満たし、認定されると、区分所有者の管理に関する意識向上を図ることが期待できます。管理計画認定を取得したマンションは、適正な管理が行われているマンションとして、市場での評価につながるとともに、住宅金融支援機構の融資制度（フラット35やマンション共用部リフォーム融資）の金利引き下げといったメリットを受けられます。また、マンションの長寿命化に資する大規模修繕工事を行い、一定の要件を満たす場合は、マンション長寿命化促進税制（建物部分の固定資産税の減税措置）の対象となります。	まちづくり部	建築指導課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	マンション建替の支援制度の一つとして、国土交通省の優良建築物等整備事業(マンション建替タイプ)があります。これは国・県・市町の３者で協調して補助する制度で、神奈川県のホームページには「当該市町による補助が可能であるとの見通しが立つ場合に、その窓口を通じて、併せて、本県補助金の活用に関しご相談いただく手順を想定しています。」となっています。現在、本市では財政健全化に向けて取り組んでいるところであり、優良建築物等整備事業（マンション建替タイプ）による支援は難しい状況です。	まちづくり部	まちづくり推進課
I01	R7.6.28	厚木基地について、その跡地に学園都市を誘致すれば、大和市が神奈川県の副都心になれるのではないかと考える。米軍の岩国基地移駐が完了しており、市長には日本飛行機の移転を進めてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	厚木基地については、早期返還を最終目標に掲げながら、基地に起因する諸問題の解決と市民負担の解消に向けた取組を進めています。全面返還実現の際には、まちづくりの前提が変わりますので、改めて議論をしていくことになると考えております。	未来政策部	総合政策課
J01	R7.6.28	やまと公園やプロムナードの植栽帯が無くなるなど、市内の緑が減ってきているように感じているので、緑の保全をしてほしい。	(1)既に対応済みのもの	限られた予算の中で全ての樹木を適正に管理することは難しく、倒木の危険や不法投棄などの犯罪にもつながる場合があることから、必要に応じて樹木を伐採することがあります。 しかしながら、緑は潤いのある美しい景観をつくり、人々に安らぎや癒しをもたらすなど大切な存在です。可能な限り市内の緑を次世代に継承できるよう、泉の森等の大規模緑地を中心に保全していきます。	環境共生部	みどり公園課
J02	R7.6.28	文化都市を目指すのであれば、大学の誘致をしてはどうか。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	大学の誘致に関連して、第１０次大和市総合計画の目標のひとつに「にぎわいを生み出すまち」を設定しており、都市の持続可能性が高まるよう、地域経済の活性化や大和市に訪れる人の増加に向け、様々な方策を検討していきます。	未来政策部	総合政策課
J03	R7.6.28	のろっと、やまとんＧＯの本数が減ることを心配する声が多い。高齢化が進む中では、減便ではなく増便するべきである。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	現在コミュニティバス事業は、運行の効率化を図るため、見直し検討を行っています。頂いたご意見を参考にさせていただき、利用促進や経費削減の観点から運行見直しを実施していきます。	まちづくり部	まちづくり総務課
J04	R7.6.28	大和市は平和都市宣言をしているが、世界では戦争が起きており、厚木基地には米海軍や自衛隊がいるので有事の際に標的になる可能性がある。アメリカと仲良くすることも大切だが、譲れない部分は明確にＮＯを提示して戦争に巻き込まれないようにしてほしい。	(1)既に対応済みのもの	本市は、平和都市宣言の理念のもと、市民団体や市議会各会派の選出議員で構成される大和市平和都市推進事業実行委員会と、さまざまな平和事業を展開してます。具体的には、小・中学校への戦時体験の語り部派遣事業や語り部講話のＹｏｕＴｕｂｅ配信、戦時体験講演会、平和関連施設を巡る「ピースリング・バスツアー」、子ども達を被爆地広島へ派遣する「ヒロシマ平和学習派遣事業」等を開催し、戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さについて考えていただくきっかけとしています。二度と戦争を起こしてはならないという強い信念のもと、今後とも平和都市推進事業実行委員会をはじめ、平和首長会議や日本非核宣言自治体協議会の加盟都市等、さまざまな関係機関とも連携し、各種平和事業を実施していきます。	市民経済・にぎわい創出部	国際・市民共生課
K01	R7.6.28	市内各地域のリサイクルステーションに関連して、資源の戸別回収に向けた取組の経過や検討状況について、進捗状況を聞かせてほしい。	(3)実現を目指し検討しているもの	必要な施設整備に関する調査設計や回収業者へのヒアリングを行うなど検討を進めています。	環境共生部	資源循環推進課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
A01	R7.7.15	瀬谷で開催される国際園芸博覧会に合わせて大和市も動いていくことが、前回のタウンミーティングでも伝えられている。それに関連する形で、ふれあいの森を整備してはどうかと考えている。芝生の整備や四季折々の花を植えて、常に人が訪れるような森になったらよいのではないか。	(3)実現を目指し検討しているもの	２０２７年国際園芸博覧会を契機として緑に対する関心も高まり、大和駅から徒歩で訪れることができる「ふれあいの森」にも来訪者が増えることが期待されます。厳しい財政状況の中ではありますが、本市を代表する観光スポットであることから、少しずつではありますが整備を進めており、今年度から来年度にかけては、老木化した桜の整備を実施しているところです。将来的には、より一層子どもたちが様々な体験をし、笑顔がさらにあふれる場所となるよう、今ある自然環境を残しつつも、川や池を有効活用した遊び場のほか、休憩場所、散策路などの充実を図りたいと考えております。財政状況を踏まえますと早期の実現は困難ではありますが、今ある施設を有効に活用し、適切な維持管理に努めるとともに、人と自然が共生できる緑豊かな都市となるよう、さらなる魅力向上の取組について検討してまいります。	環境共生部	みどり公園課
A02	R7.7.15	下和田地区について、高座渋谷駅から渋谷中学校に通ずる道路が抜け道になっており通学時間帯は生徒が広がって歩いている場合もあり危険なので、交通安全対策をお願いしたい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	具体的な場所をお知らせいただければ、状況を確認し交通安全対策を行うことも検討可能です。	まちづくり部	道路整備課
			(2)令和８年度までに対応予定のもの	学校に確認したところ、既に生徒への安全安心の注意喚起や一部の道路における見守り活動を行っているとのことでした。今回のご意見を踏まえ取組を強化するよう、学校に依頼しました。併せて、道路の修繕や規制等の要望があれば、具体的な場所や改善方法等と共に報告するよう伝えました。	教育委員会	学校教育課
A03	R7.7.15	現在、障がい者雇用で働いており、仕事を休まないと精神障害者手帳や自立支援医療受給者証の手続きに行けないので、毎週でなくてもよいので、土曜日に窓口が開いていると助かる。有給休暇を使わざるを得ないが、有給休暇本来の目的とは違うと思うのでなんとかならないか。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	市では、窓口業務のＤＸ化を推し進め、来庁しなくてもできる手続きを増やしております。現在、窓口ＤＸの進捗や他市の土曜日開庁の状況等も踏まえ、土曜日の開庁について対応しているところです。	未来政策部	政策総務課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療証の手続きは郵送で行うことも可能です。ただし、郵送に係る費用（切手代等）については申請者のご負担となります。	あんしん福祉部	障がい福祉課
C01	R7.7.15	地域で卓球クラブをやっている。高齢のかたが中心であるが、若いかた、障がいのあるかた、リハビリを兼ねたかた、外国人など、仕事や生活状況も様々なかたが卓球というひとつのキーワードで集まって楽しく過ごしている。こういった活動は、市長が掲げる“つながり”や“ウェルビーイング”と親和性の高いものと考える。市民交流拠点ポラリスは、北部文化・スポーツ・子育てセンターという名称で、体育館という位置付けではないと聞いたことがある。屋内のスポーツ施設は暗いのが常識であるが、ポラリスのアリーナは非常に明るくて体育館としての体をなしていない。床が白っぽく、光の反射もあって、ボールが見にくい。財政が厳しいというお話があった後で恐縮だが、外光を遮る、床の色をワックスで濃くするなど、スポーツがしやすい環境に整えてほしい。	(3)実現を目指し検討しているもの	大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター（ポラリス）アリーナの環境改善につきましては、頂いたご要望について検討しております。差し込む光に対する対策として、既にアリーナ入口のドアに遮光カーテンを設置しました。引き続き課題を整理しながら、指定管理者と調整し、検討を進めてまいります。	健幸・スポーツ部	図書・学び交流課
C02	R7.7.15	青少年指導員や健康普及員などの活動について、各地区の人口に最大で約４倍の差があるが予算額は同じなので、人口に応じて配分するなど格差を是正してほしい。	(1)既に対応済みのもの	健康普及員活動は、地域に根差した活動となるよう、自治会のブロック分け等に即した地区としているため、地区ごとに人口の格差があることは承知しております。地区活動費については、実際に開催する健康講座等にかかる費用に対しお渡しするものといった主旨であり、現在のところ担当地区の人口によって講座内容や回数等に差がみられていない状況です。そのため、担当地区の人口比に応じた金額とはしておりませんが、頂いたご意見については今後の事業の参考とさせていただきます。	健幸・スポーツ部	健康づくり推進課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	青少年指導員の地区の定数については、各地区の状況に合わせて、令和８年２月に地区毎の割振を変更しています。青少年指導員の定数や活動内容については、ご意見を参考にしながら、令和８年度以降検討を進めていきたいと考えています。	こども部	こども青少年みらい課
C03	R7.7.15	コミセンについても、北部の人口を考えると設置数が少ないと感じる。北部は新しく住むようになった人が多いが住民同士の交流は少ないので、こういった格差をなくすなど、コミュニティを形成するための仕組みが必要だと思う。	(3)実現を目指し検討しているもの	コミュニティセンター及び児童館は、その役割や地域における意義をあらためて検討する必要があると認識しています。コミュニティセンターを地域の拠点として、今まで以上に有効活用していく手法も含めて、自治会やコミュニティセンター管理運営委員会と協議を進めています。	市民経済・にぎわい創出部	つながり推進課
D01	R7.7.15	２～３か月前に放送されたＮＨＫ「首都圏情報 ネタドリ!」（岐路に立つ「町内会」未来へのヒントは？）で自治会が取り上げられた。問題点として「加入者の減少」「役員の成り手不足」などが挙げられており、存続が難しい自治会は合併している事例も紹介されていた。昔から住んでいる人の親睦会という側面が強いのなら自治会はいらない。大和市に住んで１０年になるが、自治会に関する情報が少ないと感じている。自分が住んでいる場所の自治会名がわからない、役員が誰かもわからない状況で、自治会に入りたくても入れないのである。以前、市に問い合わせしたところ、あなたが入りたいなら教える、というスタンスだったので、こういう姿勢である限り、自治会加入率は下がり続けると思うので、もっと開かれた自治会になるべきである。	(3)実現を目指し検討しているもの	自治会における加入率低下により、担い手不足という課題に直面されていることを把握しています。自治会を中心とした地域コミュニティ活動が、今後も持続可能になるように、自治会と行政が足並みをそろえ、一部の自治会ではモデル地区となることを目的とした取組を実施しております。	市民経済・にぎわい創出部	つながり推進課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
D02	R7.7.15	市内のリサイクルステーションでは、かごが運搬されてきたらすぐに設置しているところもあれば、私のところのように資源を最初に排出しに来た人が設置している場合もある。リサイクルステーションの維持管理に税金が投入されているのに、地域によって差があるのは如何なものかと思ってしまう。自治会として請け負うことが、できるのか、できないのか。	(3)実現を目指し検討しているもの	リサイクルステーションのかご（Ｂ資源コンテナ）の設置は配布業者ではなく、自治会にお願いしています。各自治会の事情により、リサイクルステーションの維持管理の方法には差があります。自治会の負担を軽減し、地域による差をなくすことも含め、資源の戸別回収への検討に取り組んでいます。	環境共生部	資源循環推進課
D03	R7.7.15	大和駅と中央林間駅はターミナル駅なので、乗降客の多い時間帯はエスカレーターがごった返している。先日、ベビーカーを持ってエスカレーターに乗っているかたに「どけ！」と言っている人を見かけた。埼玉県や名古屋市は「エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」を制定しているので、大和市でも検討してはどうか。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	鉄道事業者は駅エスカレーターの適切な利用についてすでに広く呼びかけを行っています。そのため、こうしたご意見があった場合には、鉄道事業者と情報共有を図っていきたいと考えています。	まちづくり部	まちづくり総務課
E01	R7.7.15	中央林間駅周辺の道路について、東急田園都市線中央改札口東側の横浜銀行とオリジン東秀、美容室があるエリアに横断歩道を設置してほしい。小田急江ノ島線北東側に新設された改札口に向かう道路に横断歩道がなく危険である。小田急江ノ島線北西側の改札口から踏切を渡って東側へ行った場合も同様の経路で移動するかたが多いので危険である。中央林間駅周辺の安全性と利便性の向上につながると思う。	(1)既に対応済みのもの	ご意見を受け、大和警察署に横断歩道の新設要望書を提出しております。今後も同様な要望に対しては、交通管理者である大和警察署に速やかに要望してまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
F01	R7.7.15	前市長による公共施設関連工事のやり直し指示に関する第三者調査について、調査結果も出ているが、当時の合意プロセスがどうであったのか、また、現在着手されている公共工事に対してどのように反映しているのかを具体的にお聞かせいただきたい。	(1)既に対応済みのもの	令和6年6月27日付けで市に提出された「前大和市長による公共施設関連工事のやり直し指示に関する第三者調査報告書」において、前市長のルールを遵守する姿勢の欠如や職員に対する強圧的な態度が指摘され、複数の工事について合理性のない変更がなされたと判断されています。当該調査報告書を受けた再発防止策を令和7年3月に公表しており、今後は再発防止策に基づく取組を進めてまいります。	総務部	コンプライアンス推進課
			(1)既に対応済みのもの	公共工事に対する議会の適正なチェック機能が重要であり、それを果たすためには、議会に必要な情報が十分に提供されることが前提となるため、予算審議に必要な情報となる公共工事の発注予定を議会に提供しております。また、同じタイミングで、市民の皆様にも同様の情報を市ホームページにて公開し、発注予定に変更が生じた場合には、その都度速やかに情報の更新を行っております。	総務部	契約検査課
F02	R7.7.15	財政について、経常収支比率は９９．３％と非常に高い数値となっている。大和市は扶助費の占める割合が高いので、圧縮していくための具体的なシミュレーションをお聞かせいただきたい。	(3)実現を目指し検討しているもの	令和８年度に策定する「（仮称）大和市財政健全化プラン」で、歳出事業の見直しや歳入確保策の充実等の取組を定め、経常収支比率の改善に取り組んでいきます。	未来政策部	財政課
G01	R7.7.15	卓球クラブに所属して活動しており、大会で大和スポーツセンター第1体育室を利用している。点灯している照明が少なく、外光を遮るため暗幕を閉めると非常に暗い。第３体育室は暗幕が切れていたり隙間があるので、明るさの調整が難しい。他市のスポーツ施設で大会が行われることもあるが、暗いことで困ることはないので、改善してほしい。	(1)既に対応済みのもの	本市では、令和５年度に「水銀に関する水俣条約第５回締約国会議（ＣＯＰ５）」において、水銀添加製品である一般照明用蛍光ランプについて、令和９年末までに製造及び輸出入の段階的廃止が決定されたことを受け、今年度大和スポーツセンターを含む市内全スポーツ施設の照明設備及び学校校庭夜間照明設備のＬＥＤ照明設備導入を進めております。なお、大和スポーツセンター第１・３体育室におけるイベント開催時の照度（明るさ）に関するご相談につきましては、状況によっては費用をご負担いただくこともありますが、大会主催者から施設管理者へお申し出ください。	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課
G02	R7.7.15	昨今は５月や１０月でも３０度を超える日があり暑さ対策が必要である。スポーツセンターやコミセンの空調について、６月から９月など稼働期間を決めずに、気温や湿度に応じて臨機応変に稼働させてほしい。	(1)既に対応済みのもの	指定管理者に確認したところ、７月から９月にかけては冷房運転をしており、５月中旬から６月、１０月等も気温や湿度、天候を見ながら冷房運転を行い快適にスポーツを楽しんでいただけるよう運営しているとの回答を得ています。暑さを感じる場合は職員にお申し出ください。	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	コミセンは業務用の空調機器のため、冷暖房の切り替えには業者対応が必要になります。市内に２０か所あるコミセンを業者が順番に対応しているため、どうしても気温や湿度に応じた臨機応変な対応が困難です。	市民経済・にぎわい創出部	つながり推進課
G03	R7.7.15	自転車通行帯について、車が停車していて車道を通行せざるを得ないことがあるが、非常に危険であり怖い思いをしている。自転車通行帯の安全性を確保するようにしてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	自転車マナーアップ工事により、自転車走行に関する啓発を行っています。引き続き交通安全に努めていきます。	まちづくり部	道路整備課
H01	R7.7.15	はりきゅうマッサージ治療助成券について、高齢のかたはとても喜んでいる制度であるが、来年度から廃止されると聞いている。制度の存続を望む声が多いので、高齢のかたの健康維持のために廃止しないことを要望する。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	はりきゅうマッサージ治療助成制度は廃止いたしますが、高齢のかたの健康の維持、介護予防への様々な施策を展開していく中で、効果的な手法等について検討していきます。	あんしん福祉部	人生１００年推進課
H02	R7.7.15	大規模災害により自治体の庁舎が被災した場合に備え、移転できる土地を確保している自治体があると聞く。大和市も災害時に本庁舎が被災した場合にどこで業務を継続していくのか、今のうちに場所を確保することを提案する。	(1)既に対応済みのもの	本庁舎が被災し、使用できないと判断した場合は、代替施設である文化創造拠点シリウスに移行し、災害対策本部運営等を開始します。	市長室	危機管理課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
I01	R7.7.15	草柳小学校には、おかえりなさい運動の会があり、児童の登下校時に見守り活動をしている。小学校北東側のスポーツセンター入口という五差路には１０人前後を配置しているが、全員が７０歳以上となっており、全体的に高齢化が進んでいる。以前は労いの会をしていたが、近年はそれも行われず、モチベーションが上がらない状況である。この運動はボランティアで行われており、地域で行う登下校の見守りが市内全域に広がっていくきっかけとなった活動である。まだ行われていない地域もあると聞くので、年に１回くらいは教育委員会や学校が労いの気持ちを示すとともに、市内全域に活動の輪を広げていくこともお願いしたい。これは要望なので、地域の声として伝えてもらえればよい。	(1)既に対応済みのもの	地域のかたと学校が連携して、子どもたちの安全・安心のため、登下校時に地域のかたがたに見守り活動を行っていただいており、今後も持続可能な活動となるよう、支援していきます。	教育委員会	指導室
J01	R7.7.15	昨年度も参加してお願いしているが、障がい者歯科診療所を大和市内に設置することを要望する。大和綾瀬歯科医師会の大和歯科診療所は、介護認定があると障がい者の歯科診療が受けられるので、ここを障がい者歯科診療所にすることもできるはずである。高齢になった保護者は、子どもたちの歯科診療で大変な苦労をしている。大和市で生活する重度障がい者、その保護者共通の思いである。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	障がいの種類や程度によって必要とされる配慮や治療体制は異なるため、その設備等が整い、必要に応じた最適の治療が提供できる2次・3次医療機関を紹介しております。2次・3次医療機関は、県や県内市町村と連携し設置・運営しており、市単独で設置する考えはありません。	あんしん福祉部	障がい福祉課
J02	R7.7.15	福祉については予算を削るのではなく、増やしていってほしいので、シリウスやポラリスの維持管理費を見直すべきである。	(1)既に対応済みのもの	シリウスやポラリスを含む文化創造拠点等については、人件費や物価が高騰している中、指定管理更新に合わせて仕様や人員配置の見直し等を行い、維持管理費の抑制に努めました。	健幸・スポーツ部	図書・学び交流課
K01	R7.7.15	シリウス３階のげんきっこ広場でプレイリーダーをしている。来年度から０～２歳の子どももげんきっこ広場を利用できるようになる。げんきっこ広場は小学校２年生まで利用でき、小さな子どもが埋まってしまうくらい深いボールプールもあり、事故が起きないか心配である。様々な要望があって０～２歳も利用できるようになったことは理解しているので、現時点で考えられるリスクについて、ぜひ市長に見ていただき、リスクを回避する方策を一緒に考えてほしい。	(2)令和８年度までに対応予定のもの	０～２歳の利用開始に合わせて、安全確保のために必要な人員を配置する予定であり、指定管理者と意見交換を行い、こどもが安全に利用できるよう調整を図っています。低年齢児用のエリアを新たに設け、施設面での安全対策を行います。こどもの安全管理は保護者の責任で行っていただくことを周知するとともに、危険が想定される場面ではプレイリーダーが適切な声掛けを行うなど、それぞれの立場からこどもを見守り、安心して遊べる環境づくりに努めます。	こども部	ほいく課
K02	R7.7.15	シリウス３階には授乳室とおむつ替えコーナーが用意されているが、通常のトイレには授乳スペースとおむつ替えベッドがないため、両方を使いたい場合、行き来しなければならない。今後、０～２歳の利用が始まると通常のトイレで授乳やおむつ替えをしたいかたが非常に多くなることが予想される。すでに多くの利用者から出ている意見なので、通常のトイレへの授乳スペースとおむつ替えベッドの設置をぜひお願いしたい。げんきっこ広場は最大７５組利用していて土日は殆どの時間帯が混んでおり、おもらしや嘔吐も少なくないので、市長にはスーツではなく、動きやすい服装で混雑時に施設内に入ってご覧いただきたい。	(1)既に対応済みのもの	シリウス３階フロアにあるエスカレーター前のみんなのトイレについては、おむつ替えベッドの設置がありますので、こちらもご利用ください。授乳スペースの通常トイレ内への設置については、スペースの問題や衛生環境等の観点から、設置は難しいものと考えます。	健幸・スポーツ部	図書・学び交流課
K03	R7.7.15	屋内こども広場の休館は１２月３１日、１月１日のみなので、子育て世代が多いプレイリーダーには負担であることも意見としてお伝えする。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	休館日については、市民サービスの観点から設定しており、現状では見直す予定はありませんが、シリウス全体の運営を見直す必要が生じた場合、休館日の在り方を検討することが考えられます。	こども部	ほいく課
L01	R7.7.15	少年補導員をしている中で、やまと公園について意見がある。７月４日（金）に大和駅からやまと公園までパトロールを行った。１８時４０分のやまと公園内には、かなりの子どもがいた。付き添いが必要な年齢の子どもと保護者の数が合わないので、聞いてみたところ、近所だから付き添いなしで来たとのことで、１９時頃まで保護者の付き添いなしで遊んでいる状況であった。また、不定期であるが高校生がプロキオンにたむろしている。やまと公園はシルバー人材センターの人が巡視しているが、一人しか配置されておらず、１０人以上の高校生に注意できる状況ではない。保護者の目がないと、小さな子どもでも怪我をする恐れのある危険な遊び方をしている。学校の先生方にお願いするのは難しいと思うので、市長をはじめ市の皆さんで知恵を出して見回りができる体制を構築してほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	やまと公園の見回りについては、シルバー人材センター（毎日）や公園警備（臨時）の委託を行っています。しかしながら、公園については、自由利用のため、県青少年保護育成条例に抵触しない時間帯で開園しております。（２０時に施錠しています）	環境共生部	みどり公園課
M01	R7.7.15	大和駅周辺のまちづくりや市内の産業振興について、前市長時代に足らなかったことと、その要因について、感想レベルでお聞かせいただきたい。	(3)実現を目指し検討しているもの	これまでは、「ひと、まち、社会の健康」を柱とし、中でも「人」に関して注力してまいりました。そのため、市民生活の質の向上を目指し、シリウスやポラリスなどの整備に注力してまいりました。今後は、蓄積された住環境の魅力を維持しつつ、都市間競争が激化する中で、選ばれる自治体となるための企業立地の最適化や誘致戦略の強化などが必要なのではないかと考えております。	市民経済・にぎわい創出部	産業活性課
			(1)既に対応済みのもの	大和駅周辺については、文化創造拠点シリウスの建設ややまと公園のリニューアル等により、駅周辺の人通りが増加してきている一方、駅周辺へのにぎわいへの波及は限定的であると捉えています。こうした中、相模鉄道の都心への相互直通運転が開始されたほか、2027年には隣接する瀬谷区において２０２７年国際園芸博覧会の開催が予定されるなど、大和駅周辺の環境が変化してきています。これらを契機として、大和駅周辺のにぎわいをより高めていくため、現在、地域と行政が一緒にまちづくりを進めていく体制の構築や、今後のまちづくりの指針となる（仮）大和駅周辺未来ビジョンの検討を進めています。	まちづくり部	まちづくり総務課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
A01	R7.7.21	災害について、私の中であるが、Ａランクを南海トラフ地震や首都直下型地震、富士山の噴火、他国からの武力攻撃、Ｂランクをその他の地震、台風、大雨と分けて考えている。Ｂランクについては、市役所や自治会、自主防災会などが中心になったマニュアル整備や防災に対する心構えがしっかりしているが、問題となるのはＡランクである。Ｊ－ＡＬＥＲＴが発令された場合、どう対処すればよいか分かっている市民はほとんどいないと感じている。世界情勢が悪化するなかで、日本もいつ武力攻撃を受けるか分からない状況であるため、一時緊急避難所の設定について、自然災害の避難所と同じレベルで行政や自治会でも考えていかなければならないと考える。東京都心は地下街や地下鉄を一時緊急避難所にしているので、大和市も地下施設を活用するべきである。住宅についても、６畳ほどのスペースであれば５０万円ほどで施工できるので新築やリフォームのタイミングで耐震シェルターや耐震ルームの導入補助金があるとよいのではないか。	(3)実現を目指し検討しているもの	地震、火山の対策は大和市地域防災計画、武力攻撃などの対策は大和市国民保護計画で総合的な指針等を定めており、計画に基づいて各種対策や訓練を実施しています。火山対策については、国や県の動向等も確認しながら地域防災計画の修正を検討していきたいと考えています。	市長室	危機管理課
B01	R7.7.21	田中４号公園は開設して５０年が経過した。公園に大きな桜の木があるが、老木化していて強い雨風の後は、かなりの数の枝葉が落ちている。道路側にも枝が伸びており、車や人がそれを避けている状態であり、一部は電線に触れているので、剪定をお願いしたい。また、田中４号公園の引地川側にある水道について、水道メーターのボックスだけがある状態なので、蛇口を設置して使えるようにするか、ボックスを撤去するか、どちらかにするべきではないか。	(1)既に対応済みのもの	対象の桜は既に剪定済です。水道メーターのボックスは将来的に利用する可能性もあるため撤去いたしませんが、新たに水道を設置することは、厳しい財政の中ですぐに対応することが難しい状況です。	環境共生部	みどり公園課
B02	R7.7.21	スタンドパイプについて、市内各所に設置されており消火資機材として有効だと思うが、消火栓の位置が分からなければ意味がないので、位置を明示するなど何らかの工夫をしてほしい。	(1)既に対応済みのもの	スタンドパイプの保管用ボックスの中には、設置場所から近い消火栓を明記した地図が収納されています。今後は地域防災訓練などの機会を通じてその旨を周知していきます。	消防本部	消防署管理課
B03	R7.7.21	先日、保健福祉センターでＡＥＤ講習会を受けて感じたのが、市内に配備されているＡＥＤについて、夜間閉鎖している場所に配備しても使えないのではないか。川崎市ではコンビニにＡＥＤを配備していると新聞に掲載されていた。こういうことはどんどん真似するべきなので、大和市でもやってみてほしい。	(1)既に対応済みのもの	市では、協力いただけるコンビニエンスストアにＡＥＤを設置しているほか、コンビニエンスストアが近隣にない地域においても、大規模集合住宅のエントランスなど、２４時間開放されている場所にＡＥＤを設置しています。	消防本部	救急救命課
C01	R7.7.21	２歳の子育て中で、保育園になかなか通らない状況である。保育園を増やすか、一時保育の利用枠を増やしてほしい。現在、一時保育を利用しているが、同じ曜日、同じ時間帯で利用できないため継続的に働くことができない。来年３歳になるので、保育コンシェルジュに相談したところ、３歳児は非常に難しい状況とのことであった。大和市は子育て王国を掲げているが、その名に見合っていない。幼稚園が合わない子もいるので、保育園を増やしてほしい。	(1)既に対応済みのもの	保育所等の整備計画及び保育所等の利用申込実績等を基に、新設整備や既存施設の定員拡大を支援しており、令和８年４月１日時点では１３１人の定員拡大を予定しています。今後も必要量を慎重に見極めながら保育の受け皿確保に努めてまいります。	こども部	ほいく課
D01	R7.7.21	学校に行けない、所謂グレーゾーンの子を育てている。現在、小学２年生で、主に母親が付きっきりの生活となっている。女性の社会進出が広がっているというが、こういった家庭の場合、社会進出したくても働くことができない。子どもの居場所を探すために市に相談しているが、施設があっても週に１回ということが多く、その他の日は親が付きっきりで働けない。一昨年、「子育て王国」を掲げる大和市に魅力を感じて横浜から引っ越してきたのだが、生活してみたら何の支援もないので対策を考えてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	こどもの居場所の一部として、児童館、放課後児童クラブ、こども食堂への支援等を行っており、青少年が活動できる機会や場所を提供しております。頂いたご意見につきましては、市全体で共有するとともに、参考にさせていただきます。	こども部	こども青少年みらい課
			(1)既に対応済みのもの	各学校では校内支援体制を構築しており、保護者と学校が協力し、安心して過ごせる空間づくりに努めております。大和市特別支援教育センター「アンダンテ」では、学校と深くつながり、子どもや保護者への切れ目のない支援の推進として、教育相談を行っております。また、特別支援教育に精通した専門家による巡回相談を行い、特別支援教育の視点を踏まえた助言を学校や保護者に行っております。特別支援学級在籍の児童生徒で何らかの理由により学校への登校が難しい場合には、「ひだまりの教室」での個別の支援を行っています。	教育委員会	指導室（特別支援教育センター）
			(1)既に対応済みのもの	児童の特性が登校への困難さにつながっている場合や児童を取り巻く環境の調整は、青少年相談室の青少年心理カウンセラーやスクールソーシャルワーカー、各小学校に配属されている教育相談員に相談することができます。大和市には教育支援教室である「まほろば教室」があり、学校との関わりを保ったまま、自分のペースで過ごしたり学習することができます。まずは、教育相談員や学校の教育相談コーディネーターや担任に相談し、児童や家庭のために何ができるかを共有していきます。	教育委員会	青少年相談室
D02	R7.7.21	公共交通について、中央林間周辺は民営バス路線がない代わりに、コミュニティバスが走っているが、便数、乗車人数共に少ない。やまとんＧＯについては、お年寄りがバス停で長い間待っていても、満員で乗れないことが多々ある。とても可哀想なので、コミュニティバスを充実させてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	現在コミュニティバス事業は、運行の効率化を図るため、見直し検討を行っています。頂いたご意見を参考にさせていただき、利用促進や経費削減の観点から運行見直しを実施していきます。	まちづくり部	まちづくり総務課
D03	R7.7.21	公園の設備について、老朽化遊具が撤去したまま放置されていることが多い。近隣の幼稚園、保育園、学童など使いたい人は多い。公園以外の遊び場はないので、公園の整備をお願いする。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	公園施設長寿命化計画に基づいた遊具の計画的な補修や改築によってコスト縮減を図っているため、撤去時期によっては公園の遊具再設置に時間を要する場合があります。また、安全に遊べる空間の確保ができずに、やむを得ず再設置を断念する場所もあります。なお、計画にない新規の遊具設置については、厳しい財政の中、すぐに対応することが難しい状況です。	環境共生部	みどり公園課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
E01	R7.7.21	市ホームページに市民の掲示板があるが、なかなか辿り着けない。市民の掲示板はサークル会員募集や各種イベントを紹介してもらえるためとてもよいページであるが、閲覧しにくいなら意味がない。誰でも簡単に閲覧できるようにしてほしい。	(1)既に対応済みのもの	市ホームページトップページの中段に加え、最上段のスライドバナーに表示する運用としました。全戸配布をしている広報やまとの誌面では、「市民の掲示板」「サークル会員募集」のホームページを毎号案内しており、直接該当ページを表示できる二次元コードも掲載しています。また、大和市ＬＩＮＥ公式アカウントでは、毎月情報更新をお知らせしています。	市長室	広報課
E02	R7.7.21	心身障害者医療費助成制度の対象範囲を広げてほしい。このことは議会請願もしており、家族の念願である。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	本市の心身障害者医療費助成制度は、県の重度障害者医療費助成制度に準じて、重度に相当するかたを対象としており、対象範囲の拡充は、市の財政状況を考えると大変困難な状況です。本来、全ての国民が公平に医療を受けられるべきものと考えており、引き続き、国による全国一律の医療費助成制度の創設や県の補助対象拡大を要望していくとともに、市の助成制度の見直しを検討します。	あんしん福祉部	障がい福祉課
F01	R7.7.21	柳橋自治会では盆踊り大会など色々なイベントを行っており、地域のコミュニケーションが図られている。こういったイベントに対して、市から補助金を出してもらえると、自治会活動が広がってコミュニケーションが活性化し、市内の他の自治会と連携したイベントなど、広範囲のコミュニケーションにつながっていくと思う。	(3)実現を目指し検討しているもの	令和7年度から自治会の規模や活動内容に応じた新たな補助金支援を始めたところです。地域住民のつながりを構築していくことは大変重要であります。補助金を含め、これまでとは異なる支援も行っていく必要があると考えています。	市民経済・にぎわい創出部	つながり推進課
F02	R7.7.21	以前、待機児童ゼロというのを大きく見せていたと思うが、現在の待機児童の状況について聞かせてほしい。	(1)既に対応済みのもの	保育コンシェルジュの相談サービスを中心に、情報提供や案内を行うとともに、既存施設の定員拡充などにより保育の受け皿確保に努めております。	こども部	ほいく課
G01	R7.7.21	ゆとりの森園内の照明について、綾瀬市側と比べると非常に暗いので明るくしてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	公園に必要とされる照度を確保するための照明灯が既に設置されており、新たな整備を行う予定はありません。	環境共生部	みどり公園課
G02	R7.7.21	ゆとりの森芝生グラウンド南側のトイレについて、午前９時から午後５時まで、今の時期は少し長く午後６時まで使えるが、使えない時間帯が長すぎる。ゆとりの森で早朝ラジオ体操をしているが、トイレが使えず困っている人が多いので２４時間使えるようにしてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	指定管理者の勤務時間や人数のほか、防犯上の課題をクリアする必要があります。実現するためには警備強化等に一定の費用がかかるため、厳しい財政の中で対応することは困難です。	環境共生部	みどり公園課
G03	R7.7.21	ゆとりの森芝生グラウンド南側の自動販売機は建物の中にあるため、使えない時間帯があるのは自動販売機の意味がないと思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	指定管理者の勤務時間や人数のほか、防犯上の課題をクリアする必要があります。実現するためには警備強化等に一定の費用がかかるため、厳しい財政の中で対応することは困難です。	環境共生部	みどり公園課
G04	R7.7.21	ゆとりの森の綾瀬市側はミストが増設されたので、大和市も増設してほしい。綾瀬市との境界にあった柵を撤去したことは感謝している。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	新たなミストの設置については、厳しい財政の中、すぐに対応することは困難です。危険な暑さとなる日に不要不急の外出は控えていただき、やむを得ない事情がある際は、「ひと涼みスポット」であるゆとりの森仲良しプラザなどのご活用をお願いしたいと考えています。	環境共生部	みどり公園課
H01	R7.7.21	中学生と小学生の子どもがいる。５月１９日に連絡システム「すぐーる」で皆出席廃止の通知があった。中学生の息子は１年生から皆出席を目指して頑張っているので、社会でも無遅刻無欠席無早退が評価されることを伝えて励ましてきた。そういう子もいるのに、紙１枚で廃止というのはあまりにも酷い。息子は、自分の代は皆勤賞をもらえるのに、後輩はもらえないことが心苦しいと言っている。廃止理由として、「国が不登校児童生徒への支援として、学校に登校するという結果のみを目標とするものではないとしているほか、休むことへの社会意識の変化等を受けて、教育委員会といたしましては、皆出席の表彰制度を維持することは、今の子どもたちを取り巻く教育環境にそぐわない」とあった。財源が理由であれば諦めもできたのだが、不登校支援を理由としていたところに引っかかっている。小学生の下の子が不登校で半年ほど学校に付き添っている。息子が通う小学校は、雨の日にコーディネーターの先生が迎えに来てくださったり、家を出られるまで１時間かかっても待っていてくれるなど、とても手厚い支援をしていただいており、特別教室に通えるようになった。なぜ、普通に通えている子の目標をなくしてしまうのか。そこを混ぜてしまうのではなく、分けて考えるべきである。下の子については、不登校になった時点で皆出席は頭から抜けていて、この子が学校に行く目標は別のところにある。子育て王国ということで、すべてを分け隔てなくという視点は理解できない。廃止する理由を聞かせてほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	国が不登校児童生徒への支援について「学校に登校する」という結果のみを目標にするものではないとしているほか、近年の「休む」ことへの社会意識の変化等もあり、教育委員会といたしましては、皆出席者の表彰制度を継続することは、今の子どもたちを取り巻く教育環境にそぐわないと考えております。 廃止にあたり、小学校・中学校校長に意見を仰いだほか、現場の意見や、市民からの意見（教育委員への手紙）を踏まえ検討した結果、小中ともに、令和６年度の１年生の卒業時を最後に廃止することとしました。なお、令和２年度時点で、政令市を除く県内１５市において、教育委員会として皆出席の表彰を行っているのは大和市のみとなっています。 教育委員会としての皆出席者の表彰は廃止となりますが、校長室で個別に表彰するなど、学校ごとの状況に応じた工夫や運用については、引き続き各学校の自主性に委ねる方針です。	教育委員会	教育総務課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
I01	R7.7.21	（不適切保育について）市長におかれては、第三者委員会の設置とタウンミーティングの開催について決断いただき感謝申し上げる。□本件の問題がここまで大きくなったのは、一番は保育園事業者であるが、市ほいく課の運営状況も影響している。なぜ、大和市側の保護者説明会がなく、今日の今日まで謝罪もないのか。市長には大和駅で直接お会いしたことがあり、その時に保護者説明会があるからぜひ来てほしいと言われたが、市長が参加することはなかった。市長の公務が忙しいことは理解しているが、私としては1分でもいいから顔を出して一言ほしかった。６月１９日の市議会での市側の答弁で「保護者に丁寧な説明をしている」と言っていたが、実際、ほいく課に問い合わせをしても「お答えできない」と言われるだけである。今、監査が行われていると思うが、そのことを聞いても「精査中でお答えできない」「監査の内容は保護者側に伝えられない」と言われた。保護者への丁寧な説明はいつ行われるのか、不信感しかない。隣の横浜市で不適切保育があると、監査内容が市のホームページで公開され横浜市民だけでなく全国民が閲覧できるようになっている。□私は適切な保育が行われるものと信じて高い保育料を払ってきたのであり、不適切保育のために払ったのではない。保育料の返還など、形ある責任を取ってもらいたい。大和市が子育て王国を掲げるのであれば、不適切保育の防止を徹底してほしい。第三者委員会がいつどのように運営されるのか、再発防止策はどのようなものなのかなど、情報を皆が閲覧できるようしっかりと開示してもらいたい。	(1)既に対応済みのもの	・保育料の返還など、形ある責任を取ってもらいたい ＞監督官庁としての責任を果たすべく、通報受付記録の項目の見直しや受付後の管理方法、対応手順のチェックリスト化など、改善を実施しました。 ・不適切保育の防止を徹底してほしい ＞市による臨時指導監査、第三者委員会による調査、市保育士による定期的な訪問等し、保育内容について指導や助言を行っております。 ・第三者委員会がいつどのように運営されるのか、再発防止策はどのようなものなのかなど、情報を皆が閲覧できるようしっかりと開示してもらいたい ＞臨時指導監査の結果については、市HPで公表しております。第三者委員会による審議中の会議内容等については、非公開情報（大和市情報公開条例（平成12年大和市条例第19号）第7条各号に定める情報をいう。）が含まれるため非公開となっておりますが、再発防止策等の提言をまとめた報告書は公表する予定です。	こども部	ほいく課
J01	R7.7.21	児童クラブについて、面談など学校行事がある時間は就労していないと見做されて預けることができないので、保護者のどちらかが仕事を休んで面倒をみることになる。児童クラブからは、学校の図書室が使えるとの案内があるが、そこで待つことができない子もいる。横浜市は民間が運営しているので、こういったところも柔軟に対応している。大和市にも柔軟な対応をお願いしたい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	児童クラブは、保護者の就労や疾病等により昼間保護者が家庭にいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して、健全な育成を図る目的で開設していることから、事前に届け出された理由以外の事由ではお預かりしておりません。学校行事等による保護者不在時の預かりは、原則として致しかねますが、特別なご事情がある場合は、児童クラブにご相談ください。	こども部	こども青少年みらい課
K01	R7.7.21	一時保育の申込は園に電話しなければならない。保育士や事務員の手を煩わせてしまうので、インターネットなどで申込できるようになると助かるので、ご検討いただきたい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	一時保育は各園の受入状況や児童の健康状態確認など個別調整が必要であり、現時点で全面的なオンライン申込への移行は困難ですが、検討課題のひとつと捉えております。	こども部	ほいく課
L01	R7.7.21	やまと２４時間健康相談について、救急車を呼ぶか迷ったら相談するように広報されている。今までに４回利用したことがあるのだが、相談が必要な状況であるため、かなり焦って電話することになる。電話はすぐにつながらず、やっとつながったと思ったら「どこにお住まいですか」「あなたは何歳代ですか」と聞かれることが疑問である。こちらが救急で診てもらえる病院を聞いても「調べます」と言われ、ネットで調べた方が早いと思い、こちらから相談を打ち切ったこともある。相談員の質をあげるべきではないか。	(1)既に対応済みのもの	年齢層により、緊急度の判断や対応方法、医療機関の選定、受診の際の注意点等が異なるため、適切な助言を行うにあたり年齢確認は重要な情報となります。重症度や診療科により案内内容は異なりますが、住所地をもとにより受診しやすい医療機関をご案内しております。今後もお待ちいただくことがないよう質の向上に努めます。	健幸・スポーツ部	健康づくり推進課
A01	R7.10.25	友達が「やまと子ども伝統文化塾」に参加している。子どもが伝統芸能に触れられる機会があることを知らなかったので、こういった場があることをもっと多くの人に知ってもらえるとよいのではないか。参加する機会を増やして欲しい。	(1)既に対応済みのもの	やまと子ども伝統文化塾の参加者募集の広報につきましては、広報やまと、市のHPのほか大和市スポーツ・よか・みどり財団の広報誌などにも掲載しています。今後も、伝統文化に興味をもつ多くのかたに情報が届くよう周知してまいります。	健幸・スポーツ部	文化振興課
B01	R7.10.25	市ホームページを見ていて図書館城下町のスローガンがよいと思った。市内には図書館として活用できる敷地があるので、図書スペースになったらもっと気軽に利用できるようになると思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	本市では北部・中部・南部の各市域それぞれの読書の拠点として、中央林間図書館、大和市立図書館（シリウス）、渋谷図書館の整備・拡大を平成２８年から平成３０年にかけて完了しました。これに加え、電子図書館の充実も図っており、市の財政状況等も踏まえ、今後、新たな図書施設の整備等の計画はありません。	健幸・スポーツ部	図書・学び交流課
B02	R7.10.25	大和市は住むには便利だが、阿波踊りや千本桜などもあるが観光資源は少ない。市内には神社が多くあるので、ちょっとしたカフェがあれば人がたくさん来るのではないかと思う。	(3)実現を目指し検討しているもの	市内には桜の名所である諏訪神社や、花のお寺として親しまれている常泉寺など多くの寺社仏閣があり、市内外から多くのかたが訪れる貴重な観光資源であると承知しております。 一方、厳しい財政状況の折、観光客誘致に向けた新たな施設の整備につきましては、実現が難しいと考えております。	市民経済・にぎわい創出部	にぎわいイベント課
C01	R7.10.25	運動会の競技がダンスと徒競走しかないので昔ながらの運動会がしたい。例えば、玉入れ、綱引き、二人三脚などがしたい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	運動会は、特別活動という教育課程の中の学校行事という内容に位置づけられています。教育課程の編成は、各学校で行うこととなっており、運動会の内容についても、各学校が創意工夫して、取り組んでおります。	教育委員会	指導室
D01	R7.10.25	子どもたちの遊び場が少ないと思う。学年でポケモンや遊戯王などのカードゲームが流行っているが、できる場所が少なくて困っている。ショッピングモールで遊ぶ場はあるが、学校のルールで入れない。公園は風で飛ばされてしまうので、シリウスなどにカードゲームができる場所を作ってほしい。	(1)既に対応済みのもの	シリウス６階生涯学習センターの中にある市民交流スペース(ぷらっと大和)やポラリスの市民交流スペースなどは、予約なしで自由にお使いいただける交流空間です。カードゲームをすることも可能ですので、ご利用をご検討ください。	健幸・スポーツ部	図書・学び交流課
E01	R7.10.25	私は３年生のはじめに東京都から大和市に引っ越してきた。以前住んでいた場所では、毎朝犬を連れてこども達の見守りをしてくれる「わんわんパトロール隊」があった。毎朝、わんちゃんかわいいなと思いながら登校していた。大和市に引っ越して来てからも、犬の散歩をしている人を見かけるが、登下校の時間に犬の散歩をしている人は東京よりも少ないと感じている。犬の散歩をするよう呼び掛けて「わんわんパトロール隊」のようなものを作ってくれると嬉しい。私の学校は登校班なので、登校時は犬に気を取られると、時間がかかったり、危険な場合もあるので、下校時に犬の散歩をするよう呼び掛けるのがよいと思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	現在、大和市では、地域と学校が連携して、見守り活動を行っております。今後も、児童生徒の安全・安心につながる取組を進めてまいります。	教育委員会	指導室

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
F01	R7.10.25	現在、大和市だけではなく、日本の社会は子ども自身であっても当事者の子どもの意見を聴かないまま、大人が決めることが多い。例えば、小学校の登校班。☒校の時は自由なのに、なぜ朝だけ登校時だけあるのでしょうか。しかも、どの登校班になるかは入学前から決まっている。登校班で学校へ行かないと「行かないんだ」という目を向けられてしまう。なぜ、最初の時点で子どもが選択できないのか。何かあったときにという大人の意見や考え方があるのも確かである。登校班のように大人が思う最善と、子どもが思う自分達の最善は異なる。だからこそ、こども会議を開き、大人と子どもの対話の場を作ってほしい。対話式のこども会議は、自由に意見交換ができるように、誰もがリラックスして参加できる環境と、ファシリテーターが必要である。グループワークやファシリテーターを取り入れ、こどもと大人が対話できる、話しやすい環境づくりが大切と考える。今年の夏に「中学生の中学生による中学生のための会議」が開かれているが、それとは趣旨が異なる。その他に、こども会議では、１年に１回、まちをよくする提案を市に提言して、市が選んだものを実際に事業化するシステムがあると、子どもの参加率も上がると思う。大和市がもっといいまちになるように、子どもの意見を引き出すためには、グループワークやファシリテーターが必要である。この会議の様子を、大和市のＹｏｕＴｕｂｅチャンネルや市ＨＰで発信すると再生回数も増えて一石二鳥である。同時に、子どもの権利条約やこども基本法について、大人も子どもが一緒に学ぶことで、共通認識を持つことができるようになり、全国に大和市はすごいなと思わせることができる。	(1)既に対応済みのもの	広聴事業は、こどもを含めて幅広く市民の意見を聴くことが本旨です。令和７年度に教育委員会と共催で実施した「中学生の中学生による中学生のための会議」は、若年層からの意見聴取を重要な課題と捉え、グループワークを取り入れるなど、これまでの広聴事業の枠組みを超えた事業として実施しました。今後も、より良い事業になるよう本市で対応可能な方策を研究、実施してまいります。	未来政策部	マーケティング課
			(1)既に対応済みのもの	こども基本法において、「こども」が心身の発達過程にある者と定められ、「こども施策」がこどもや若者に関するあらゆる施策とされたほか、こども施策に対するこどもや子育て当事者等の意見反映が求められていることから、こども施策の策定・実施・評価時にこどもや子育て当事者等の意見聴取が必要であることについて、イントラネットによる周知やこども部内の研修に加え、庁内全体を対象とする研修の実施に向け準備を進めております。	こども部	こども総務課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	学校においても、様々な場面で子どもの意見を取り入れることの重要性が高まっており、こども基本法や子どもの権利条約等を尊重した取組を学校に周知しています。	教育委員会	指導室
F02	R7.10.25	大和市の子どもが海外研修や交換留学ができるシステムを作ってほしい。フィンランドなど北欧の国では、子どもたちがまちづくりに積極的にかかわっているので、そこで学んだ子どもが大和市の未来をつくるリーダーになるとよいと思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	大和市立学校に通う子どもたちが、海外研修や交換留学を行う仕組みはありません。本市の友好都市である韓国光明市とは、青少年が、文化体験やスポーツを通して、相互に交流する事業を実施しています。	教育委員会	指導室
G01	R7.10.25	大和市内の駅や駅ビルにストリートピアノを置いてほしい。なぜかと言うと、駅や駅ビルには人が多く集まるので、ピアノの音を感じると気持ちが穏やかになるからである。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	ストリートピアノの実施にあたっては、ピアノの調達、設置場所、維持管理、音が周囲に与える影響等の課題が多くあることから、引き続き実現の可否について検討してまいります。なお、現在、本市では、路上パフォーマーの活動を支援する「SORAアーティスト事業」を実施しておりますが、本事業には、楽器演奏を行うパフォーマーも参加しておりますので、そちらもお楽しみいただければと思います。	健幸・スポーツ部	文化振興課
G02	R7.10.25	登校班と自由登校を、子どもが選べるようにしてほしい。はじめから決まっているのは変だと思う。	(5)市の所管でないもの	学校によって登校班の有無は異なりますが、登校班は児童が安全に学校に通えるよう、学校やＰＴＡ、地域のかたなどが協力して見守り活動を行っているものです。	教育委員会	指導室 学校教育課
G03	R7.10.25	大和市は外国人の子どもが多いので、子どもが子ども同士で作り上げるイベントや事業があったらよいと思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	市は、大和市国際化協会と連携し、外国人市民への支援及び地域における多文化共生推進のためのさまざまな取組を実施していますが、現在日本語や学習の支援以外に、子どもに特化したイベント事業は実施しておりません。費用面や事業ボランティアの確保等の課題もあることから、現時点での対応は困難ですが、ニーズなどの把握に努めていきます。	市民経済・にぎわい創出部	国際・市民共生課
G04	R7.10.25	使わなくなったプールに絵や模様を描きたい。プールがそのままだとつまらないし、気分も上がらないので、絵や模様があると、楽しく気分も上がるのでよいと思う。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	施設管理に関する費用面や安全面などを考慮し、対応は難しいと考えています。	教育委員会	教育総務課
H01	R7.10.25	習い事の終了が１８時半なので、夏場以外は帰り道が暗い。歩道がない場所も歩くので、街灯を増やしてほしい。バディつきみ野やイオンスタイル周辺。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	防犯灯の新設については、自治会等からの要望を受け、優先順位を付け予算の範囲内で実施していますので、具体的な要望場所を教えていただければ夜間に現地調査等を行い新設の可否について検討してまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
I01	R7.10.25	町田市にはシルクメロンというブランド野菜がある。大和市でもブランド野菜を作って、給食で提供したり、収穫体験をしたり、ＳＮＳで発信するなどして、地域のアピールにつながると思う。	(1)既に対応済みのもの	地域にゆかりの深いサツマイモを活用し、収穫体験や学校給食での提供を通じて市民や児童の食育を推進するとともに、地元産スイーツとして商品化もしています。加えて、次世代の担い手であるＪＡの青壮年部員が中心となり、赤いトウモロコシ「大和ルージュ」の栽培にも精力的に取り組んでおり、地域農業の新たな魅力創出が進んでいます。今後も、これらの魅力を発信し、市民が親しみと誇りを持てる「大和ブランド」の育成を推進していく方針です。	市民経済・にぎわい創出部	農業応援課
J01	R7.10.25	給食の量を増やしてほしい。最近、給食が少ないので、家でおにぎりを食べたりすることが多い。	(2)令和８年度までに対応予定のもの	令和８年度に給食費を改定します。これにより、より充実したバリエーション豊かな献立としてまいります。	教育委員会	保健給食課
K01	R7.10.25	自転車でぶつかりそうになったので、自転車の道を整備してほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	歩行者と自転車を分離し走行できる自転車走行空間を確保できることで、安全性が高くなりますが、歩行者・自転車それぞれの幅員が決められているため十分なスペースを確保することが困難な状況です。今後も、現場状況を確認し、必要に応じて自転車走行空間の確保を検討してまいります。	まちづくり部	道路整備課
L01	R7.10.25	バレエのイベントを増やしてほしい。	(5)市の所管でないもの	芸術文化ホール主催事業は、指定管理者が企画・運営を行っております。今後も魅力あるイベントの実施に努めてまいります。	健幸・スポーツ部	文化振興課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
M01	R7.10.25	今年の夏に宇宙農業について調べ学習をした。大和市は住宅密集地で農地が少ないという話もあったので、宇宙農業に力を入れてはどうか。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	本市におきましては、限られた土地をいかに高度に活用するかが重要な課題となっています。宇宙農業のような極限環境での栽培技術は、将来的には都市型農業の新たなモデルとなる可能性を秘めていますが、現在は、国や研究機関が多額の予算を投じて基礎研究を進めている段階にあります。そのため本市といたしましては、こうした技術進捗の動向を注視しつつ、現時点では、「今ある農地をいかに守り、スマート農業等により生産性を高めていくか」という、より現実的な課題に優先して取り組んでまいりたいと考えております。	市民経済・にぎわい創出部	農業応援課
N01	R7.10.25	ポラリスの星の子ひろばで柿やザクロの実がなっているのを見たが、手入れされていなくて勿体ない。ちゃんと手入れすれば食べられると思う。地産地消や給食の提供につなげられるのではないか。	(1)既に対応済みのもの	生産量が少なく、衛生上、給食に適さないと思われます。なお、公園の果樹は食餌木として管理しております。	環境共生部	みどり公園課
			(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	学校給食に提供する食材は一定以上の数量が必要であるほか、衛生面や規格等の基準を満たす必要があることから、ご提案の食材を学校給食で活用することは難しいものと考えています。	教育委員会	保健給食課
A01	R7.11.8	高校生になってから帰宅時間が遅くなり、自宅周辺がとても暗いと感じている。遅い時間でも、大通りは街灯があり、車も走っているので明るいが、住宅地に入ると街灯が少なくかなり暗い。暗いのでカーブミラーでは安全確認ができないので危ないと感じている。大和自動車学校の西側（深見西１３号）が暗いと思う。交差点は特に見通しが悪い。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	防犯灯の新設については、自治会等からの要望を受け、優先順位を付け予算の範囲内で実施していますので、具体的な要望場所を教えていただければ夜間に現地調査等を行い新設の可否について検討してまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
A02	R7.11.8	私が小学生の頃は、毎日のように外遊びをしていて、公園に行けば誰かしらいて遊べるのが当たり前だったが、今は公園で遊ぶこどもが少ないことが気がかりである。コロナ禍を経て変わったように感じる。	(1)既に対応済みのもの	外遊びの必要性や重要性を理解いただくことを趣旨とした「大和市子どもの外遊びに関する基本条例」に基づき、ボール遊びのできる公園を整備するなど、こどもが外でのびのびと遊ぶことができる環境づくりを進めており、引き続き取組を推進してまいります。	こども部	こども総務課
B01	R7.11.8	今の意見（A02）に関連して、私も気になっているのが、小学校低学年のこどもたちが、公園などでゲームをしていることである。身体を使って遊ばないのも問題ではあるが、ゲーム器を壊したなどのトラブルがあると、妹から聞いている。また、クロームブックの使い方も気になっていて、妹は小学2年生だが、夏休みの様子を見ていると、セキュリティの穴を見つけてゲームをしている。クロームブックはとても便利であるが、キーボード部分を反対側にすればタブレット端末としても利用できて、教科書で隠して操作することができてしまうのでとても気になっている。	(1)既に対応済みのもの	1人1台端末は児童生徒の学習のために貸し出しており、使い方のルールや情報モラルなどを教職員が適切に指導することとなっています。ゲームについては、一定のフィルターは既にあるものの、それを回避して目的外の使用を行う事例があることは承知しています。今後も引き続き学校と連携して、学習を目的とした適切な使用を児童生徒に指導してまいります。	教育委員会	教育研究所
B02	R7.11.8	自転車の安全について、市内には自転車通行帯がない道路も多く、車との距離が近くギリギリで怖い思いをすることがある。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	歩行者と自転車を分離し走行できる自転車走行空間を確保できることで、安全性が高くなりますが、歩行者・自転車それぞれの幅員が決められているため十分なスペースを確保することが困難な状況です。今後も、現場状況を確認し、必要に応じて自転車走行空間の確保を検討してまいります。	まちづくり部	道路整備課
B03	R7.11.8	どうしようもないことかもしれないが、自治会の高齢化が進んでいて、とても憂慮している。	(3)実現を目指し検討しているもの	自治会の高齢化など、様々な課題が自治会に生じていることを承知しています。課題解決に向けて、現在、自治会を含めた地域コミュニティの負担を軽減すること、地域コミュニティ活動の魅力を向上させること、この2点に焦点を絞り、自治会と行政が足並みをそろえて改革を進めることを目指し、一部の自治会ではモデル地区となることを目的とした取組を実施しております。	市民経済・にぎわい創出部	つながり推進課
C01	R7.11.8	高座渋谷について、治安がものすごく悪いわけではないが、夜は近寄りがたい雰囲気がある。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	今後も大和警察署や地域の防犯関連団体と連携し、パトロールや防犯に関する啓発活動を行い、高座渋谷駅周辺を利用する皆さんの体感治安が向上し、安全で安心な地域となるよう努めてまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
C02	R7.11.8	ゆとりの森のスポーツ施設について、個人的に物足らなさを感じている。特に中規模多目的スポーツ広場について、フットサルはよいがサッカーをするには狭いので、広くしてもらえると嬉しい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	大和ゆとりの森は、防衛省の補助金を活用しながら、平成18年度より整備を順次行っており、フットサルができる「中規模多目的スポーツ広場」のほか、JFA公認の設備を有する「大規模多目的スポーツ広場」や少年サッカーのグラウンド2面分の面積を有する「芝生グラウンンド」が整備されています。中規模多目的スポーツ広場の拡張は困難ですが、同様の施設整備を行う際にはご意見を参考にさせて頂きます。	環境共生部	みどり公園課
C03	R7.11.8	学校の近くに、森の中を突っ切って行く道があるのだが、夜はとても暗い。駅までの近道なので、早く帰りたいので皆そこを通っているが怖い。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	防犯灯の新設については、自治会等からの要望を受け、優先順位を付け予算の範囲内で新設していますので、具体的な要望場所を教えていただければ夜間に現地調査等を行い新設の可否について検討してまいります。	市民経済・にぎわい創出部	市民生活あんぜん課
D01	R7.11.8	先ほど、小学生のクロームブックに関する意見について、小さな頃からデジタル環境に触れていると飽きてくると思う。私たちは、中学生からクロームブックが導入された世代で、高校に入ってもずっと触っている人が多いが、小さな頃から触っていれば、中学、高校の段階で別のことに興味が行くと思う。	(1)既に対応済みのもの	1人1台端末は全てのこどもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的とした国の方針により整備しており、本市でも小学校1年生から活用できるよう整備しました。これを契機にデジタル環境により興味をもったり、それ以外のことに興味をもつことは児童生徒の自由と考えますが、児童生徒の可能性を引き出すために学校のデジタル環境の整備やその活用方法について引き続き検討してまいります。	教育委員会	教育研究所

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課

令和7年度　タウンミーティング結果概要

意見ID	開催日	提案・意見	提案に対する対応	市の方針・考え方	担当部	担当課
E01	R7.11.8	大和市は“これ”という祭りやイベントが無いと感じている。厚木市は「あつぎ鮎まつり」が有名で、市外からも多くの人が訪れる。夏の風物詩だったが、暑さ対策で来年から１０月の開催になる。大和市にも花火大会があったらよいと思う。	(3)実現を目指し検討しているもの	市の代表的なイベントとしては、引地台公園を会場に毎年５月に開催している「大和市民まつり」や、今では「関東三大阿波踊り」と呼ばれるまで発展を遂げた「神奈川大和阿波おどり」があります。そのほか、毎月第３土曜日に大和駅周辺で開催される「神奈川やまと古民具骨董市」や毎年５月と１１月に開催される「中央林間手づくりマルシェ」、高座渋谷駅前で１０月に開催される「渋祭」など、いずれも市民の皆様が主体となり様々なイベントが開催されています。一方、ご提案いただいた花火大会の開催につきましては、相応の花火を打ち上げるにあたり、法令上の制限をクリアできる場所がなく、開催が難しいと考えております。	市民経済・にぎわい創出部	にぎわいイベント課
F01	R7.11.8	プロサッカーを観戦できる規模のスタジアムがほしい。	(4)現時点では対応できないもの。対応困難若しくは不可能なもの	新たなスポーツ施設の建設、また既存施設のリニューアルに関しまして、現時点において具体的な計画等はございませんが、本市のスポーツ施策につながる貴重なご意見と捉え、今後の参考とさせていただきます。	健幸・スポーツ部	スポーツ×ライフ課

※個人的、個別具体的な提案などで、掲載していないものがあります。

未来政策部 マーケティング課